

## 《記入例》

別記様式第1号の2 第1面（規則第十条の四第二項第一号、第十条の十六第二項関係）

### 事業計画の概要を記載した書類

1. 事業の全体計画（変更許可申請時には変更部分を明確にして記載すること）  
 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に則り、以下の事業を計画する。  
 施設 A により廃棄物 a を破砕する。施設 B により廃棄物 a,b,c,d を選別する。  
 粒度調整された a は有価物として販売する。選別後の b,c,d も有価物として販売する。  
 処理後の残さは最終処分場での埋立処分とする。

取引を予定している取引先を記入してください。はっきり決まっていない場合は、「市内事業所」等でも構いません。

予定先を記入してください。  
 県外で最終処分する場合、事業者の許可証のコピーを添付してください。

許可を申請する品目すべてを記入してください。

### 2. 処分する産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）の種類及び処分量等

	産業廃棄物 （特別管理産業廃棄物）の 種類	処分量 （t/月又は m <sup>3</sup> /月）	性 状	予定排出事業場の 名称及び所在地	処分方法	予定処分先の名称及び所在地 （処分場の名称及び所在地）
1	がれき類	100 t / 月	固形	株△△建設 熊本市△2-1-2	破砕・分級	株○□リサイクル 熊本県△町○5-2-5
2	汚泥	200 t / 月	液状	□○建設株 福岡県□○1105	脱水	株○□リサイクル 熊本県△町○5-2-5
3	木くず	100 t / 月	固形	株△△建設 熊本市△2-1-2	破砕	株○□リサイクル 熊本県△町○5-2-5
4	金属くず	50 t / 月	固形	株□□資材 熊 本 県 ○ 市 ▲ 1121	選別	株□○商店 熊本市◆○5-2-7
5						
6						
7						
8						

備考 取り扱う産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）の種類ごとに記載すること。

## 《記入例》

別記様式第1号の2 第2面（規則第十条の四第二項第一号、第十条の十六第二項関係）

3. 施設の概要（許可外処理施設）	
処理施設の種類	破砕施設（移動式）
設置場所	熊本県熊本市〇〇1丁目2番3号
設置年月日	平成〇〇年△△月××日
処理能力	▲▲ t / 時間（□□ t / 日）
廃棄物の種類	がれき類
処理施設の処理方式及び設備の概要	名称型式：メーカー△△ ○×△G-1 破砕方式：ジョークラッシャ 走行方式：クローラ 寸法：全長〇〇□□mm、全高□△△△mm、 全幅△〇〇□mm 重量：運転重量△△□□kg エンジン：型式 定格出力△〇kW / rpm クラッシャ駆動方式：油圧 走行駆動方式：油圧 走行速度：〇△km / h 付属機器：コンベア、磁選機、散水装置、 振動ふるい
環境保全設備の概要	【騒音対策】 敷地境界に防音壁を設置する。 【振動対策】 施設下に防振用のゴムマットを敷く。 【粉じん対策】 散水装置による散水で粉じん発生を防ぐ。

## 《記入例》

別記様式第1号の2 第3面（規則第十条の四第二項第一号、第十条の十六第二項関係）

4. 最終処分場（許可外）	
最終処分場の種類及び名称	安定型 ○△△□処分場
設置場所	熊本県熊本市○△△□○丁目□□番地
設置年月日	平成○○年△□月□△日
最終処分場の規模等	埋立面積：□□○△m <sup>2</sup> 埋立容量：□○△△○m <sup>3</sup>
埋立対象廃棄物の種類	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
構造及び設備の概要	①立札 ②囲い ③地すべり防止工 ④沈下防止工 ⑤擁壁・えん堤 ⑥雨水排水設備 ⑦浸透水採取設備 ⑧地下水採取設備 詳細は別添図面を参照。
放流水の水質等	放流水は該当なし。 【浸透水】 測定項目及び測定回数 別紙 【地下水】 測定項目及び測定回数 別紙 水質が悪化した場合には、その原因の調査その他の生活環境保全上必要な措置を講ずる。
その他環境保全対策	防塵対策：散水による。 飛散及び流出対策：○mの囲いを設置する。

（日本工業規格 A列4番）

## 《記入例》

別記様式第1号の2 第4面（規則第十条の四第二項第一号、第十条の十六第二項関係）

### 5. 処分業務の具体的な計画（処分業務を行う時間、休業日及び従業員数を含む。）

#### （1）委託契約の締結

排出事業者と事前に書面による委託契約を締結する。この際、許可品目外の産業廃棄物については受託しない。

#### （2）作業体制

破砕機操作員 1名

重機操作員 1名

#### （3）作業上の注意事項

- ・粉じん等の発生を防止するため、搬入場所及び破砕機周辺で随時散水を行う。
- ・搬入された廃棄物を処理する前に搬入車両から降ろして拵げ、許可品目外の廃棄物の混入がないことを確認する展開検査を行う。

#### （4）就業時間等

休業日は年末年始、盆期間、日曜日及び祝祭日、週休日。

就業時間は午前8時から午後5時まで

日付を記載してください。

従業員数内訳

平成〇〇年 4月 1日現在

申請者又は申請者の登記上の役員	政令第6条の10で準用する第4条の6に規定する使用人	相談役、顧問等申請者の登記外の役員	事務員	運転手	作業員	その他	合計
3人	1人	1人	2人	6人	4人	3人	19人

（日本工業規格 A列4番）

## 《記入例》

別記様式第5号（規則第九条の二第二項第十号、第十条の十二第二項関係）  
（規則第十条の四第二項第八号、第十条の十六第二項関係）

# 誓約書

申請者は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第5項第2号イからへに該当しない者であることを誓約します。

申請日になるべく近い日付で記入もしくは  
当課に来られたときに書いてもかまいません。

年 月 日

申請者

住 所 〒860-86××  
熊本市手取本町○番△号  
株式会社熊本市役商店

氏 名 代表取締役 熊本市 太郎  
(法人にあつては名称及び代表者の氏名)

代 表  
印  
者 印

熊本市長（宛）

## 《記入例》

別記様式第6号（規則第九条の二第二項第五号、第十条の十二第二項関係）  
（規則第十条の四第二項第七号、第十条の十六第二項関係）

事業の開始に要する資金の総額及びその資金の調達方法を記載した書類		
内 訳	金 額（千円）	
事業の開始に要する 資金の総額	既存の施設を使用するため、新たな資金を必要としない。	
土 地	資金を必要とする場合、銀行の残高証明書、もしくは金融機関等の融資証明書を添付してください。	
事 務 所		
収集運搬車両		
積替保管施設		
調 達 方 法	自 己 資 金	
	借 入 金	
	（借入先名）	
	そ の 他	
	増資	
備考	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 内訳欄の事項については、事業計画に応じ適宜変更すること。</li> <li>2. 資金を必要とする場合、預貯金の残高証明書、もしくは金融機関等の融資証明書を添付すること。</li> </ol>	

## 《記入例》

別記様式第7号（規則第九条の二第二項第七号、第十疊の十二第二項関係）

（規則第十条の四第二項第八号、第十条の十六第二項関係）

資 産 に 関 す る 調 書 (個人用)			
			年 月 日現在
資産の種別	内 容	数 量	価格・金額（千円）
現金預金	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係する内容を具体的に記載してください。</li> <li>○ 預貯金の残高証明書、その他資産を表す書類を添付してください。</li> </ul>		
有価証券			
未収入金			
売掛金			
受取手形			
土地			
建物			
備品			
車両			
その他			
資 産 計			
負債の種別	内 容	数 量	価格、金額（千円）
長期借入金			
短期借入金			
未払金			
預り金			
前受金			
買掛金			
支払手形			
その他			
負 債 計			
備考 預貯金の残高証明書、その他資産を表す書類を添付すること。			

（日本工業規格 A列4番）

《記入例》

担当課

ごみ減量推進課

市税滞納有無調査承諾書

熊本市の（産業廃棄物処理業許可申請）に伴い、熊本市市税（延滞金含む）滞納の有無を調査されることを承諾します。

所在地が熊本市内外を問わず、すべての申請者を調査の対象としております。

平成 年 月 日

熊本市長 様

申請者 所在地又は住所 ○△県□□市手取本町○番△号  
(フリガナ) カブシカイシャ クマトシヤクショウテン  
商号又は名称 (株) 熊本市役商店  
(フリガナ) クマトシ タロウ  
代表者職氏名 代表取締役 熊本市 太郎 印  
電話番号 △□○-328-〇〇〇〇

納税課確認欄

申請者 滞納なし  
滞納あり 市民税（特徴・普徴）・固定資産税  
法人市民税・軽自動車税・事業所税  
特別土地保有税  
その他（ ）

上記のとおり確認しました。

平成 年 月 日

納税課長